平成 26 年度活動事業実施報告書

■活動タイトル：　国立公園指定８０周年記念事業
「故郷の海レスキュー隊計画 2014in 坂出・櫃石島」

■活動実施日　：平成２６年８月５日（火曜日）

■活動実施場所：香川県坂出市沖備讃瀬戸海域及び坂出市櫃石島西浦海水浴場
坂出市施設（市立）与島総合開発センター研修室

■参 加 団 体 ：　坂出市立東部中学校　１年団　　８３名・教職員８名　計　９１名
坂出市立櫃石中学校　１・２年生　４名・教職員２名　計　　６名
（櫃石中学校は海水浴場一斉清掃のみ参加）　　合計　９７名

■協 力 団 体 ：　与島漁業協同組合、坂出市生活課、公益財）水島地域環境再生財団

■活動実施概要：①与島漁業協同組合所属の漁師・漁府浩文さんによる底曳網漁を視察・見学し海底ごみの実態について学習しました。
②参加者全員により櫃石島西浦海岸の海水浴場一斉清掃と「国際海岸クリーンアップ・ICC（International　Coastal　Cleanup）」の国際基準（JEAN 基準）に基づく海岸漂着ゴミ調査を行い、海ごみの実態把握体験学習を実施しました。
③坂出市与島総合開発センターに於いて、海ごみ問題について総合環境座学学習会を開催しました。

■回収ゴミ処理方法：
①坂出市櫃石島西浦海岸海水浴場のＩＣＣ調査・一斉清掃ごみは一般廃棄物（ボランティアごみ）として坂出市生活課に引取りと処分を依頼し、翌日の８月６日に引取り回収を完了して頂きました。
②底曳き網漁で回収し持ち帰った海底ごみは、香川県が平成 26 年度で推進してる海底ゴミ回収推進事業に基づき漁業者に処分を依頼しました。

■活動実施行程：●事業実施日は台風１２号通過と１１号接近の狭間で、天気に恵まれ絶好の活動日和となりましたが、当初予定の河川敷（坂出市内・綾川予定）の一斉清掃は、台風１２号がもたらした大雨で増水により、中止しました。

■活動実施内容：　今回の活動事業の活動地域選定と参加者募集に際し、瀬戸内海国立公園指定８０周年記念事業にちなみ、活動地域を瀬戸大橋のたもとに位置する坂出市内の大橋で繋がれた離島・与島と櫃石島に致しました。
　参加募集も同様に坂出市内の小中学校へ学校単位でお声をかけさせて頂いた結果、坂出市立東部中学校１年団全員の参加が得られ、校外授業として捉えて頂き、学校側の協力も得られる事が出来ました。

① 坂出市立東部中学校１年団８３名、引率教職員８名、海守さぬき会スタッフ９名、総勢１００名が２隻の海上タクシーに分乗して、与島漁業協同組合所属・底曳き網漁船の待つ、与島港に向かいました。
底曳き網を漁師が開放すると、魚介類と沢山のゴミ（ペットボトル・空き缶・レジ袋等）に大きな歓声と、ため息が入り混じりました。

「底曳き網開放に大きな歓声」

「魚介類とゴミを選別する先生と漁師さん」

「みずしま財団講師の説明を熱心に聞き入る子供達」

「坂出市立東部中学校生徒８３名の皆さん」

② 櫃石島西浦海水浴場にて体験学習第２段として、ICC 調査と海岸の一斉清掃を実施しました。ICC 調査は生徒２人１組の１０組（２０人）により、10 メートル四方（１００平方メートル）に張ったロープ内の人工物ゴミを全て拾い集め、「世界ゴミ調査キャンペーン・データカード」に種類別に数量を記録しました。
参加者残り７９人とスタッフ９名により、長さ約 400m・幅約 30mの砂浜の海岸を一斉清掃を行いました。
所要時間は約１時間で「約１２０袋／４５ℓ・約５．４立法メートル」の漂着ゴミを回収する事が出来ました。漂着ゴミはペットボトル・プラスチック袋（レジ袋等）・食品包装容器の順に多く、生徒たちは「なぜこんなにゴミが多いのか！」と呆れておりましたが、最後のゴミ袋を山積みにしての記念写真では、充実感と満足感が溢れておりました。

「海岸線南北に分かれて一斉清掃開始」

「ゴミ袋の山を自慢そうに、ハイ・ポーズ・ゴミひろったゾー！」

③ 櫃石島を後にした一行は最初の与島に上陸、坂出市施設の与島総合開発センターにて
昼食・休憩後、午前中の体験を思い出しながら、みずしま財団講師から改めて海ごみ問題について、総合的な座学講義を受けました。
教材は、弊会が平成２２年３月に制作しました学習冊子「海ごみとぼくたち・わたしたちのくらし」を使用致しました。
講義終了後８３名の生徒は１０班に分かれて、日常の家庭生活の中から海ごみを抑制する方法等の意見交換会と班毎に意見のまとめを行ない、最後に班毎にまとめた意見の発表会を行い、海ごみ発生抑制に向けた心強い決断発表を聞く事が出来ました。

「講義の前に中條会長、坂出市立東中学校校長先生挨拶」

「みずしま財団講師により座学学習会開始」

「教材は「海ごみとぼくたち・わたしたちのくらし」冊子を基本にパワーポイントで！」

「生徒を代表してお礼の言葉」

「班別の意見を取りまとめ、意見発表会」
（世の中から自動販売機を無くす！等）

■活動の効果：　弊会が平成２１年度より取組んでおります「海底ごみ目に見える化計画」及び「故郷の海レスキュー隊計画」での、海ごみ発生・排出抑制のための啓蒙、啓発活動の一環として、本助成活動事業を開催させていただきました。

海底ごみの問題は、海岸漂着ごみと同様に陸域部・海域部の両方に起因して発生するものですが、普段私たちの目に触れる機会が少ないために見過ごされてきたという経緯があります。

そこで、私たちは小型底曳網漁業者の力を借りて、子供達に実際に見てもらい故郷の海の現状を知ってもらう事ができました。

この事は、海底に沈む多くのごみを回収することも、また、処理することも大切ですが、それ以上に新たなゴミを出さない為の排出抑制に取組む事が最も大切だと思います。

その意味からも、継続した環境啓発活動に多くの子供達に、草の根活動としてご参加頂き、故郷の海の抱える現状を知ってもらい、海ごみの排出抑制に向けた意識改革が期待できると確信するものでございます。

最後に、２つの台風に阻まれ、活動予定を一部中止、変更せざるを得なかった事は非常に残念でしたが、今回の事業を通し、更に多くの子供達が故郷の海を**「美しく、豊かな海」**として次世代に残さなければ成らないと気付き、**「自分達の海は、自分達で守るんだ！」**と云う意識を持続的に持つてもらい、共々に行動できる事を心より願っています。

以上